

イノベーターを生み出す人材育成とは

ミライエ長岡 ～現代版「国漢学校」が目指すイノベーション～

小林虎三郎が開校を決断した国漢学校。その教育活動を支えた三島億二郎と藤野善蔵は、福澤諭吉と交友がある慶應義塾ゆかりの人物でした。現代のイノベーターである慶應義塾大学・増井俊之氏の講演を中心に、国漢学校と慶應義塾の教育の共通点を探り、ミライエ長岡が目指す、イノベーターを生み出す人材育成には何が求められるかを考えます。

日時 7月23日(日曜日) 13:00～15:00

会場 米百俵プレイス ミライエ長岡 4F ミライエステップ

入場無料
申込不要

第1部 講演「国漢学校開校と長岡藩のイノベーション

～イノベーター・小林虎三郎の復興理念～

講師:長岡市歴史文書館 館長 田中洋史



第2部 講演「未来への発想」

ユーザインタフェース研究の第一人者

講師:慶應義塾大学 環境情報学部 教授 増井俊之



スマホのフリック
入力を開発



略歴

1984年 東京大学大学院工学系研究科電子工学専門課程修士課程修了。工学博士。
シャープ、ソニーコンピュータサイエンス研究所、産業技術総合研究所、米国 Apple などに勤務後、
2009年4月より慶應義塾大学環境情報学部教授。
情報検索、テキスト入力、情報視覚化、実世界指向インタフェース、予測インタフェース、認証技術
など、ユーザインタフェースに関連する幅広い研究開発を行なう。
携帯電話やスマートフォンで広く利用されている予測入力システム POBox やフリック入力システムの
開発者。Scrapbox, Helpfeel, EpisoPass, 本棚.org, QuickML など各種の Web サービスを運用中。

第3部 トークセッション 「慶應義塾の人材育成とミライエ長岡の人づくり・イノベーション」

登壇者 慶應義塾 常任理事(社会・地域連携担当) 岡田英史

慶應義塾大学 環境情報学部 教授 増井俊之

長岡商工会議所 会頭 大原興人

長岡造形大学 造形学部長・教授 渡邊誠介

モデレーター 長岡市歴史文書館 館長 田中洋史



▲岡田英史さん



▲慶應義塾大学 ©慶應義塾広報室



- ・国漢学校(長岡洋学校)に教頭格で招いたのが藤野善蔵(元長岡藩士、慶應義塾教員)
- ・義塾の「三藩」(長岡藩、中津藩、紀州藩)と呼ばれるほど、長岡藩士が入塾
- ・慶應義塾で学んだ主な長岡人 外山脩造、小林雄七郎、城泉太郎、牧野忠毅、牧野忠篤

問合せ先:長岡市地方創生推進部ミライエ長岡企画推進室 電話:0258-86-6008

主催:長岡市 後援:(公財)長岡市米百俵財団